

◆ 子どもの貧困対策と保護者の仕事と生活のバランス ◆

我が国においても、所得の二極化が社会問題としてここ数年の間に大きく取り上げられるようになりました。所得の低下が原因で十分な教育を受ける事ができないため、貧困が更に子供の世代に連鎖してしまう、いわゆる貧困の連鎖が問題視されています。

家庭生活は子ども達に基本的な生活習慣や社会教育を施す重要な場です。しかし現在、世帯の所得が低下している事から共働きをせざるを得ない、所得を確保するための長時間労働のせいで、子どもと顔を会わせる時間を作れないという家庭も増えていきます。貧困を連鎖させないためには子ども達に十分な教育の機会を提供する必要がありますが、それ以前に学力を上乗せするための素地となる家庭教育の時間を確保できるように、保護者の働き方について考える必要があるのではないでしょうか。

Q. 家族や家庭の時間が子どもの育ちに与える影響に関して、どのようなご所見をお持ちでしょうか。また、子どもの育ちの観点から、保護者の仕事と生活のバランスを確保する支援策をどのように実施していこうとお考えか方針をお聞かせください。

A. 子どもの貧困問題は、生まれ育った環境や経済状況によって子どもの未来が閉ざされかねない非常に大きな問題です。子どもが、家庭や家族を含めて愛情あふれる多くの人と触れ合う環境をどのように確保していくかが大きな課題です。そのための仕事と生活のバランスは豊かな社会実現や、子育ての観点からも重要だと考えています。京都府では「京都ワーク・ライフ・バランスセンター」で、働き方の見直しの助言、企業がワークライフバランスに取り組むための様々な環境を整えるための補助を行い、多様な働き方ができる環境づくりに努めて参ります。



私たちは「豊かな生活とは何か」と改めて考える転機にあると感じます。貧困は経済的な側面だけでなく、時間的・精神的な面でも連鎖してしまいます。未来を生きる子ども達が豊かな生活を送れるよう、今を生きる政治家として貧困の連鎖を断ち切るために引き続き全力で取り組んで参ります。

京都府議会議員 堤じゅん太 活動風景



▲8月24日議員研修会 杉原千畝記念館訪問



▲9月9日議員団 タイ王国サラブリ高校視察



▲9月12日議会風景



▲10月1日後援会 じゅん友会「秋の集い」



▲10月2日はっぴいバス10周年記念イベント



▲11月9日農商工労働常任委員会 青森県へ視察

堤じゅん太プロフィール



1978年6月25日生まれ
 京都大学総合人間学部 卒業
 長岡京市の民間企業 勤務
 2009年 長岡京市議会議員 初当選
 2015年 京都府議会議員 初当選 現在1期目
 農商工労働常任委員会・スポーツ振興特別委員会所属
 趣味：料理・旅行・茶道

ご相談はお気軽に **堤じゅん太事務所** まで

〒617-0823 京都府長岡京市長岡2丁目2-9 小池マンション南棟1-A
 TEL: 075-323-7890 FAX: 075-323-7430 E-mail: info@t-junta.com

